

## 地域新エネルギー詳細ビジョンとバイオマスタウン構想について

---

### 1 概要

市では、「牧之原市地域新エネルギー詳細ビジョン」と「牧之原市バイオマスタウン構想」の2つのバイオマス利活用計画を策定しました。

この2つの計画は、地球温暖化防止策の一つとして、市内で十分に利用されていないバイオマスの利活用を推進する計画です。

22年度からは、利害関係者で構成する「バイオマス利活用推進協議会」を組織し、策定した2つの計画の事業化を検討していきます。

### 2 牧之原市地域新エネルギー詳細ビジョン

経済産業省所管「NEDO」の補助金を使って策定しました。平成 20 年度に策定した「牧之原市地域新エネルギービジョン」の柱の中で、行政の関与が必要な「バイオマス」の推進に絞って 21 年度に策定しました。

このビジョンは、剪定枝、家畜排せつ物、生ごみ、廃食用油等の各種バイオマスのエネルギー利用可能量を調査し、収集方法、利用想定先、採算性等を試算し、ケーススタディ（目安となる事例）として掲載しました。

地域特性を活かした具体的な事業として、木質バイオマスをペレット加工したものを、製茶工場の製茶機用ボイラーとして燃料利用する事業などがあります。22年度は、この事例の中の廃食用油のBDF利用を目的としたモデル地区での分別回収を実施する予定です。

### 3 牧之原市バイオマスタウン構想

平成 22 年 3 月 31 日に牧之原市バイオマスタウン構想が農林水産省から公表されました。今回の公表を含めて、全国で 268 地区が公表されており、静岡県内では、湖西市、浜松市、袋井市に次ぐ 4 番目の公表となります。

上記の詳細ビジョンは、バイオマスのエネルギー利用計画ですが、バイオマスタウン構想は、堆肥化、飼料化等を含めた広範囲な構想です。

本市の構想では、地域特性を活かした一例として、茶の実に含まれる成分を化粧品等に利用するというような計画を掲載してます。22年度は、掲載例中の生ごみの堆肥化・飼料化を目的とした、モデル地区での分別回収を実施する予定です。

今後のバイオマスタウン構想は、民間活力を活かした方法で推進し、構想に沿って事業を実施する民間事業者を支援して、環境保全と地域活性化の両面に大きな効果が期待されるこの構想の事業化を進めていきます。